

# 自転車事故の加害者とならないために

発行：郡山市セーフコミュニティ推進協議会「交通安全対策委員会」



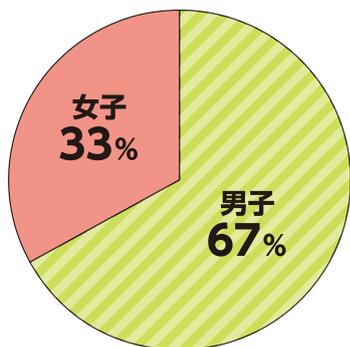
郡山市では、けがや事故をデータから分析し、その原因を見つけ出し、必要な対策を行うことで、けがや事故を減少させる「セーフコミュニティ活動」に取り組んでいます。

私たち、郡山市セーフコミュニティ推進協議会「交通安全対策委員会」では、高校生の皆さんの自転車事故を減少させるため、様々な取り組みを行っています。

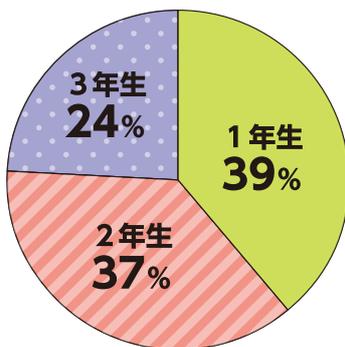


## 1 郡山市内における高校生の自転車事故

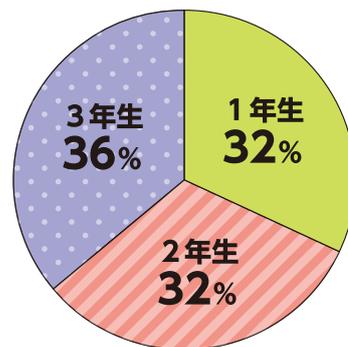
【男女別事故割合】



【男子学年別事故割合】



【女子学年別事故割合】



出典：郡山警察署（令和7年）

男女別割合は、男子生徒の事故が67%、女子生徒の事故が33%となっており、男子生徒の事故の割合が女子生徒の事故より34ポイント多い結果となりました。

また、学年別事故割合は男子生徒は1年生の割合が最も多く、女子生徒は3年生の割合が高くなっています。特に1年生は、自転車通学に慣れていないことから、入学して間もない4月から6月にかけて事故が多い傾向があります。

## 2 事故を起こさないためにも心がけましょう

自転車は、とても身近で便利な乗り物です。しかし、自転車は「軽車両」に分類され車の仲間です。交通ルールを守らなかったり、誤った乗り方をすると大きな事故につながります。

事故を起こさないためにも、もう一度、自分の運転を振り返るとともに交通ルールを守り、安全運転に心がけましょう。また、夜間外出する時は**夜光反射材を活用**しましょう。



↑自転車等の安全利用について詳しくはこちら



スピードを出し過ぎない



信号無視をしない



自転車で傘さし運転をしない



ながら運転をしない



無灯火で運転しない



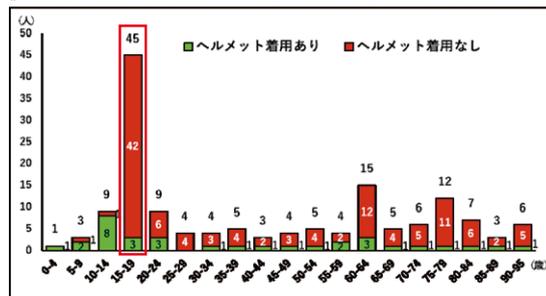
夜光反射材を活用しましょう

### 3 高校生の自転車用ヘルメット着用は特に重要です

高校生の自転車事故は最も多い状況です。  
 自転車のヘルメット着用は努力義務です。  
 事故の被害軽減のため、  
ヘルメットを着用しましょう。

※努力義務とは、罰則はありませんが、当然そうすべきであり、そのように  
 努めなければならないと規定されている物事です。

【自転車事故による年代別の救急搬送人数とヘルメットの着用率】



出典データ：郡山地方広域消防組合公表データ  
 「自転車事故による救急統計」（令和6年度）



### ヘルメットはあなたの命を守ります

- ・自転車事故により亡くなった人の約6割は頭部を損傷
- ・ヘルメット非着用者の死者数は、着用者と比べて約11.6倍

自転車乗車中のヘルメット着用状況別の死者数  
 (全国：令和2年～令和6年合計)



出典：警察庁資料

### 4 甘く考えないで！自転車の事故

自転車事故とはいえ、被害の大きさによっては数千万円の賠償金を命じられるケース  
 もあります。下表は実際にあった未成年が起こした自転車による加害事故の例です。  
 決して「自分は大丈夫！」と思わず、安全運転に心がけましょう。



賠償金額	事故の概要
9,330万円	男子高校生が夜間、イヤホンで音楽を聴きながら無灯火で自転車を運転中に、パトカーの追跡を受けて逃走し、職務質問中の警察官（25歳）と衝突。 <u>警察官は頭蓋骨骨折等で約2か月後に死亡。</u> ◆高松地方裁判所：令和2年7月22日判決

出典：一般社団法人 日本損害保険協会

令和8年4月1日から、自転車の違反にも  
 青切符（交通反則通告制度）が導入されます。

詳しくは  
[こちら](#)



自転車を利用する人は、**必ず自転車保険**に加入し、  
 頭部への被害軽減のため**ヘルメットを着用**しましょう！

保護者の皆様へ  
 詳しくは[こちら](#)



一定の基準を満たす電動キックボード等は特定小型  
 原動機付自転車として新たなルールが適用されました。

詳しくは  
[こちら](#)



**交通事故は、ケガの程度にかかわらず、110番通報をしましょう。**

セーフコミュニティの情報は

郡山市 セーフコミュニティ

検索

発行／郡山市セーフコミュニティ推進協議会  
 「交通安全対策委員会」

事務局／郡山市 市民部 セーフコミュニティ課 交通防犯係  
 TEL:024-924-2151 FAX:024-921-1340



UDフォントを使用しています。

2026年3月作成